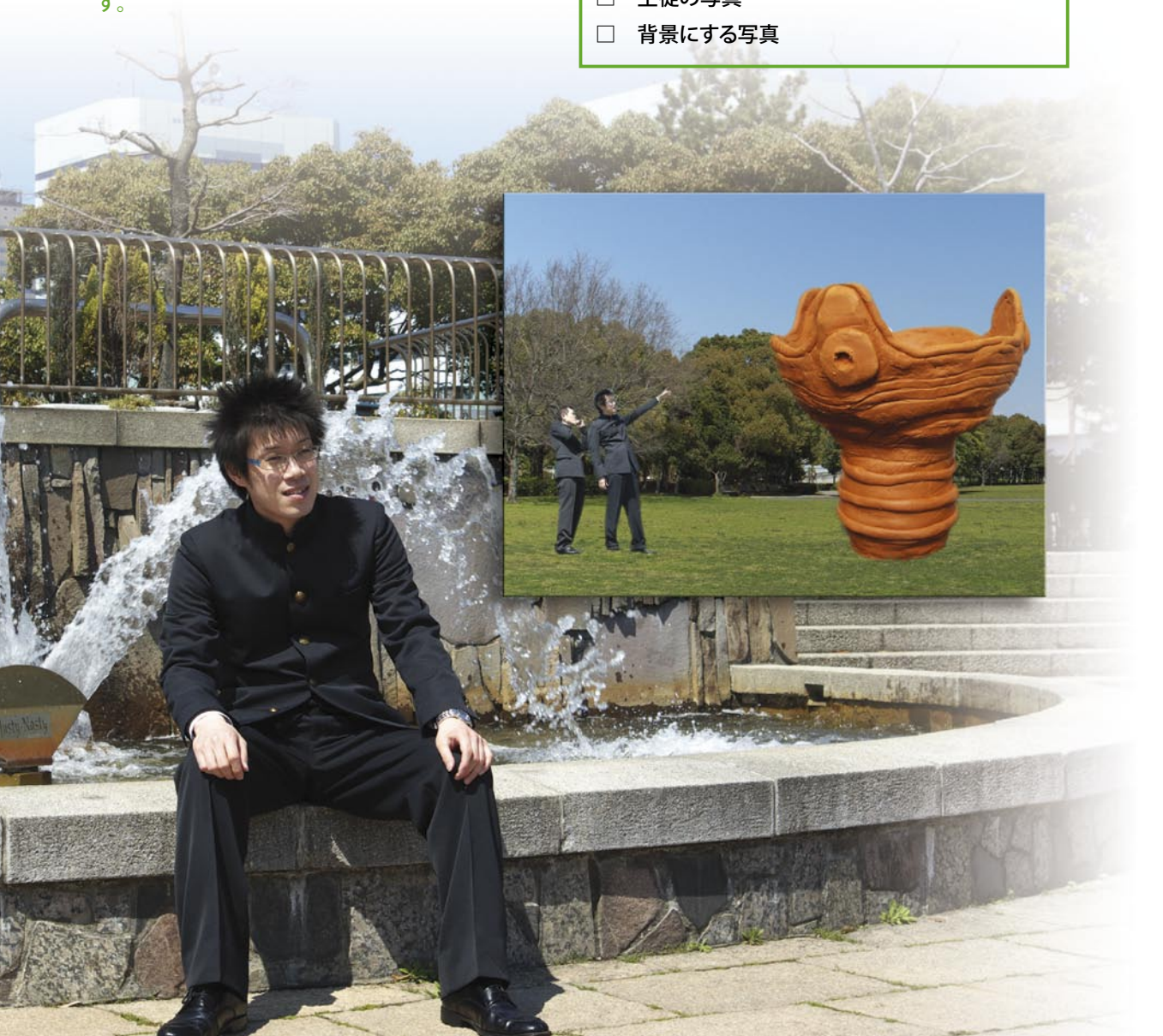


# 作品と自分を合成しよう

授業で作成したオブジェや木工などの作品を写真に撮り別の写真と合成して、新たな作品を作ることができます。作品を作った生徒の写真も一緒に合成すると、世界で一つの作品を作ることができます。

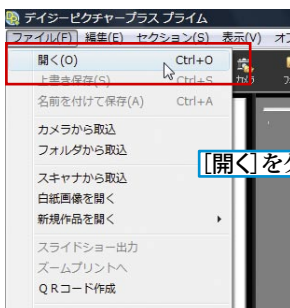
### ● 事前準備する資料

- 作品を撮影した写真
- 生徒の写真
- 背景にする写真



## ▶ 写真をファイルから取り込もう

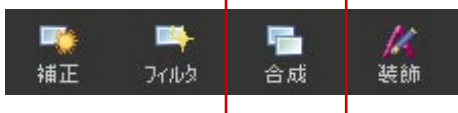
1 メニューバーの[ファイル(F)]から[開く]を選択します。



2 使用する写真のファイル名をクリックして、[開く]を選択します。

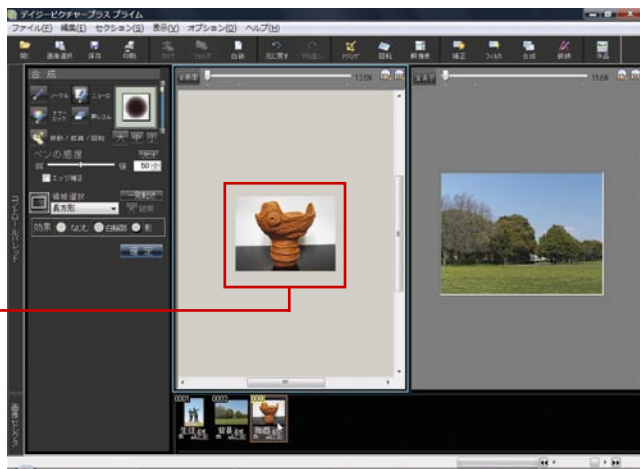
## ▶ 合成する写真を用意しよう

1 ツールバーの[合成]をクリックします。



合成セッション画面が開き、キャンバスに2種類の写真が開きます。

2 [画像セレクト]から合成をする被写体を選択します。

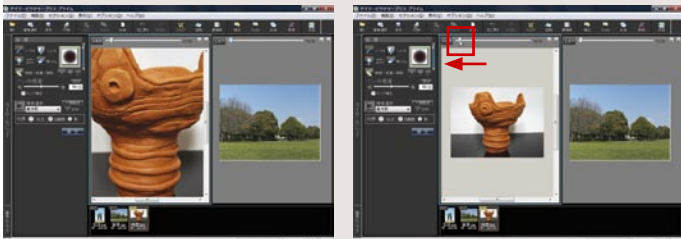


左側のキャンバスに[画像セレクト]から選択した写真が表示されます。

## ▶ 写真の大きさを整えよう

### 左の写真が大きい場合

左のキャンバスの上に[拡縮スクロールバー]があります。  
このスクロールバーを左へスライドすると写真が小さく表示されます。



スクロールバーを一番左へスライドさせても、まだ写真が大きい場合は写真の解像度変換を行うと大きさを小さくすることができます。

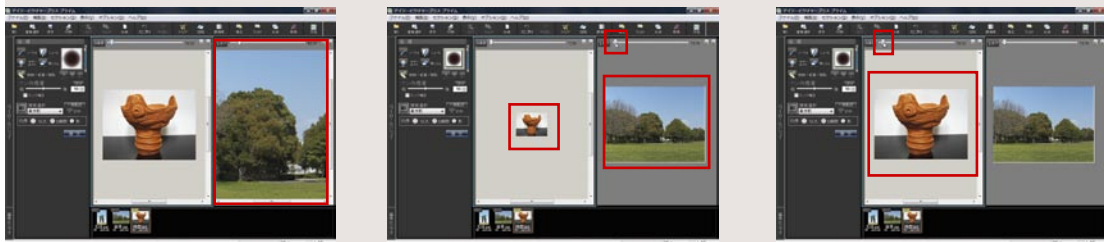
解像度変換についての解説は57ページをご覧ください。

#### 右の写真が大きい場合

右のキャンパスの上に[拡縮スクロールバー]があります。

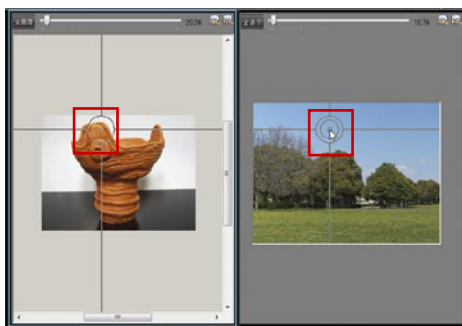
このスクロールバーを左へスライドすると写真が小さく表示されます。

同時に、左のキャンパスの写真も小さくなるので、左のキャンパスの上の[拡縮スクロールバー]をスライドさせ、写真の大きさを調整します。



### ▶ 背景に作品を合成しよう

- 1 マウスのカーソルを右の写真(背景)へ合わせます。



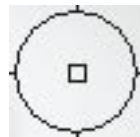
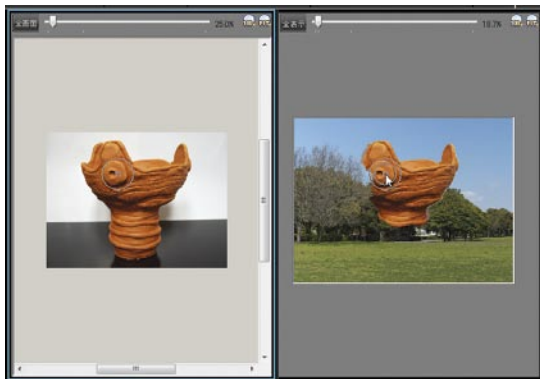
マウスのカーソルを中心に2重の円と縦横の十字線が表示されます。

同時に左の写真(被写体)にも1重の円と縦横の十字線が表示されます。カーソルを動かすとわかりますが、この2つの円は連動して動いています。

#### POINT!

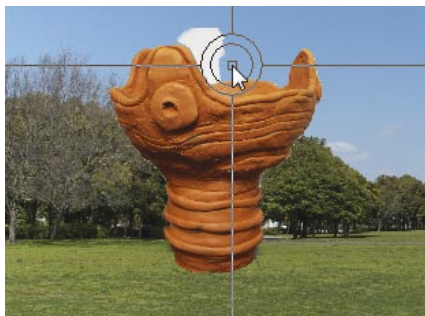
合成を行うときはマウスのカーソルは必ず右の写真(背景)に合わせてください。

- 2 左の写真に表示されている円の中心に小さな[□]があります。この[□]をペンの先になります。



[□]を合成する被写体の内側に沿ってドラッグをします。

右の写真に左の写真でドラッグした部分が合成されます。



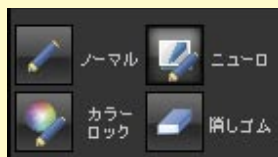
はみ出してしまった場合は、はみ出した部分に右ドラッグを行うと消すことができます。(右ドラッグで消す場合も、マウスのカーソルは右の写真に合わせたままです。)

### POINT!

ペン先が大き過ぎてうまく合成できない!  
[コントロールパレット]のペンの大きさを調整します。[大][中][小]ボタンで大きさを変更することができます。  
また、中央のペン先を直接ドラッグすることで、ペンの大きさと形状を手動で調整することができます。

### POINT!

上記で使用しているペンモードは[ニューロ]というペンです。初期値に設定されています。



ノーマルペン・・・ドラッグした部分を全て合成します。

ニューロペン・・・被写体の輪郭をプログラムが自動で認識し、被写体だけをきれいに合成します。

カラーロック・・・被写体の色をプログラムが判別して、その色の部分だけを合成します。

消しゴム・・・合成した被写体画像を消去します。

## ● うまく合成ができない・・・なぜ？

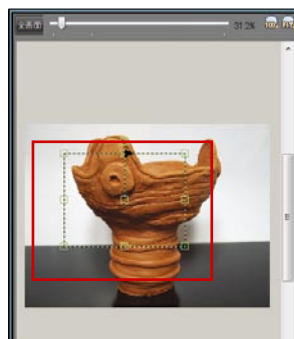
### 原因 1

被写体の写真(左側)を誤ってドラッグしてしまった。

- 1 コントロールパレットの[領域選択]の右手の[破棄]をクリックします。



- 2 左側のキャンバスに表示されていた緑色の点線が消えます。



### 原因 2

被写体の色と背景の色が似ている。

- 1 [ニューロ]の感度を強めます。

感度を強めることによって、境界線の認識が厳しくなり、色の違いをより見分けることができます。



## 第2章

### 86 作品と自分を合成しよう

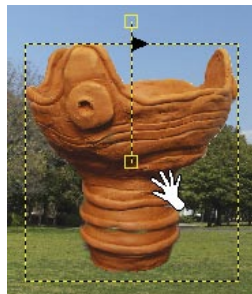
#### ▶ 合成した被写体を移動しよう

1 コントロールパレットの[移動/拡縮/回転]をクリックします。



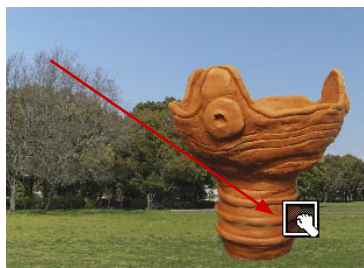
合成した被写体に黄色い点線が表示されます。

2 マウスのカーソルを黄色い点線内へ合わせます。



3 ドラッグをすると合成した部分を移動することができます。

カーソルが矢印から[]のマークへ変わります。



同時に左側の写真の位置も移動します。

#### ▶ 合成した被写体を拡縮しよう

1 マウスのカーソルを黄色い点線内へ合わせます。

カーソルが矢印から[]のマークへ変わります。



2 右下へ向かって右ドラッグを行うと合成した被写体が拡大されます。

3 左上へ向かって右ドラッグを行うと合成した被写体が縮小されます。

## ▶ 合成した被写体の角度を変えよう

1 黄色い点線の上部に、黄色い[□]が表示されています。

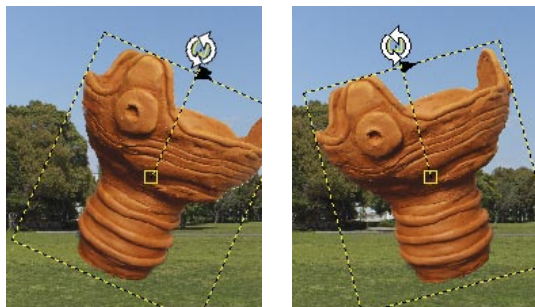
黄色い[□]にマウスのカーソルを合わせます。



カーソルが矢印から[☺]へ変わります。

2 右へドラッグを行うと合成した被写体が右へ回転します。

3 左へドラッグを行うと合成した被写体が左へ回転します。



### POINT!

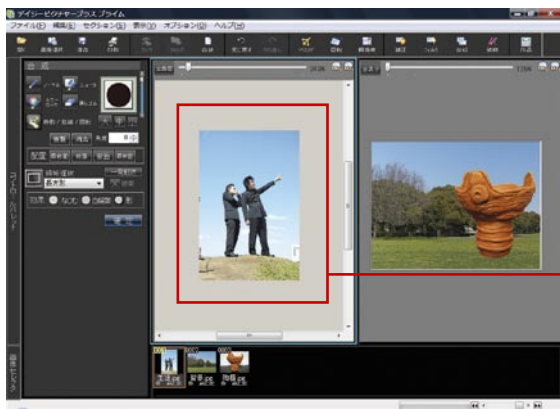


ドラッグ中は画像がモザイク状になりますが、ドラッグしている指を放すと、元の画像の状態に戻ります。

## ▶ 合成した写真に新たな写真を合成しよう

1 [画像セレクト]から次の被写体となる写真を選択します。

左側のキャンバスの写真が画像セレクトから選んだ写真に変わります。

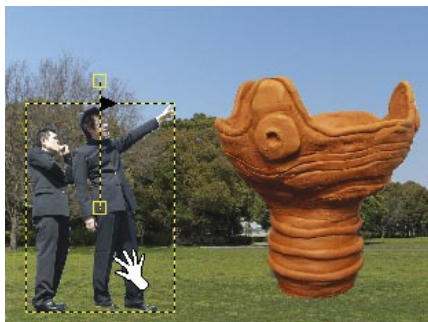


写真が変わります。

## 第2章

### 88 作品と自分を合成しよう

84～87ページの操作で引き続き合成操作を行います。

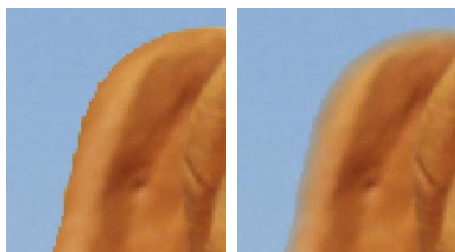


#### ▶ 被写体と背景をなじませよう

- 1 合成した被写体を選択した状態(画像セクタで選択している状態)で、コントロールパレットの[効果]から[なじむ]を選択します。



被写体の周りに、ぼかしが入ります。[なじむ]を再度クリックすると、ぼかしの効果が強くなり、背景の写真と被写体になじんできます。



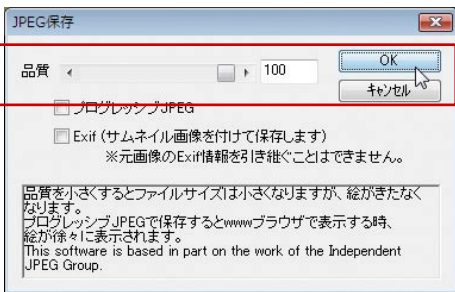
拡大表示すると、効果をはっきりとわかります。

- 2 効果を掛け終わったら、必ず最後に[確定]をクリックしてください。



[確定]操作を行った後では、[効果]をかけることはできませんので、ご注意ください。

## ▶ 保存をしよう



- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]のウィンドウが表示されます。
- 3 保存する場所を指定します。
- 4 [ファイル名]に作成した作品のファイルの名前を入力します。
- 5 作品の保存形式を[ファイルの種類]から選択します。

保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。

- 6 [保存]をクリックします。
- 7 [JPEG保存]ウィンドウが表示されます。

品質の数値はスクロールバーをスライドさせて[100]に設定します。

写真に文字を入力した場合は、品質の数値は[90]以上で保存をしてください。文字入力時は品質の数値を[90]以上に設定しないと、保存後に文字がガザガザになります。

補足

## 作品例



土器が倒れそう  
[合成+回転]



土器からの目覚め  
[合成+フィルタ(レンズフレア)]